

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMORE筒井校・筒井校2		公表日		令和8年 3月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1		静と動の部屋に分けていますが、見守りの関係上部屋を分けられない時はあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	活動内容によっては職員を多めに配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2	段差や階段には柵や見守りの職員をつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	4	毎日、清掃と消毒を行っています。 見守りと構造の関係上部屋を分けられない事がありますが子どもたちの動く範囲を考えて活動内容を考えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0	時間を決めて対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	事業所ミーティングや運営母体の代表との面談、管理者研修で行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	年に1回必ず実施しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	事業所ミーティングや朝礼など意見を言える場所を設け、業務や支援に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1	月に1回系列の事業所と代表で管理者研修を行い、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	研修費用の補助を行うなど研修を受けやすい環境を整えています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	5領域を意識したプログラムを実施、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	担当者会議やモニタリングで随時お子さまや保護者のニーズを確認しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	ケース会議など支援の方向性を話し合う機会を設けています。共通認識の下で支援を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	ケース会議など支援の方向性を話し合う機会を設けています。共通認識の下で支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	アセスメントシートやケース記録など共通のツールで確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	県の実地指導で問題なしとの評価を得ています。引き続き分かりやすい計画書を提示していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	半年に一回の当番制で行っているが、内容はチームで考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	外部講師の関係で固定化されている曜日もありますが、内容は毎回更新していて、お子さまが楽しんで参加できるものや支援が必要なものや反映できる活動を提供しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	集団で見て、パーソナルレッスンで個別で関わっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	毎朝の朝礼で確認を行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	1	気になる点はすぐに共有できるようにグループLINEを使っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	毎回の連絡帳とケース記録、専門支援記録を残しています。内容を共有し、支援に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	半年に1回は必ず行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	児発管が基本的に出席します。会議の前に職員の意見をまとめています。必要に応じて現場で関わっている職員が参加します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	全てのおさまではないですが、必要に応じて関係機関と協力しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2	保育所の面談に入ったりご希望に沿って行っています。送迎時におさまの様子など情報を共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2	学童の先生、担任の先生、支援員の先生などと情報の共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	3	対応に課題があり難しいときにはおさまが通われているセンターに相談しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	4	地域の社会資源（公園や飲食店）で触れ合う機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	送迎時や電話、LINEなどで情報共有をしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	2	親子参観の開催で普段の療育の体験ができるようにしています。個別の相談は随時行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	契約時に説明をしております。変更が生じた際には、随時説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	計画作成時には確認しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	随時行っております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	計画更新時と相談時には時間を設けて対応しております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3	親子参観や保護者参観で保護者同士が顔を合わせる機会を設けている。茶話会の開催も必要に応じて実施している。飛び入りで兄弟児さんが参加されることもある。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	各関係機関と連絡を取って速やかに対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0	Instagramやホームページで発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	入社時と内容が更新されたときに誓約書を取っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	障がいの特性に合わせた対応をしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	4		開所当初は見学会を実施していたが、毎日お子さまを預かっている状況で時間を調整することが難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0	マニュアルに沿った訓練の実施を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	年間計画を策定し、実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0	体験前、契約時に確認しております。毎年4月にアセスメントシートの更新を保護者様をお願いしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	事前に聞きとりし、保護者様と同じ対応を取っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	年間計画を策定し、実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	日頃の点検やお出かけ場所の確認を行なっております。安全性が確保されている施設を利用しています。	災害時の保護者様引き渡し訓練を行う必要があると感じています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	再発防止に向けた方策は全職員で考えています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	年間計画を策定し、実施しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	必要時は委員会内で話し合い、決定します。	対象者がいません	